

導坑掘進における一工程 一発破作業について

原島建設株式会社

四国支店 大久保 紀 生

目 次

1. 要 旨
2. 施 工 条 件
3. 編 成
4. 作 業 時 間
5. 山 取 り 作 業
6. セ ン 孔
7. 発 破
8. 結 論

1. 要 旨

最近導坑掘進において一工程（8時間）に一発破作業を確保することが種々論議されている。

別子出張所で施工中の坑内作業に於ても26年頃はTY44のさく岩機を使用し二工程に一発破の作業（1の方堀さく発破作業2の方山取り作業）であつたが、27年よりミリセコンド電気雷管（M.S.雷管）を使用し、一工程一発破作業を行うようになった。しかし坑夫の技術に影響され能率的でなかつた（土木技術カ6巻4号参照）

此処に述べるのは小型ジャンボ一及太空600型積込機を使用し作業を規格化、合理化したものである。

ミリセコンド電気雷管を使用した頃は月進50～60M程度であつたが機械化された現在月進80～100M迄掘進出来る様になつた。その作業方法について述べ施工の参考資料に供し度いと思ひます。